

(テーマ名) マルチメディアに柔軟に適応する自然言語処理基盤の構築

(シーズ概要)

デジタル収録可能な高機能・高性能なビデオカメラや録音装置が一般化されたことにより、言語コミュニケーションの場に様々な電子機器が介在する可能性が増えています。しかし、例えば、録画したビデオから、特定の場面を検索しようとしても、インターネット上の全文検索のように簡単に検索できません。つまり、言葉と当該のオブジェクトを結びつける技術は未だ発展途上です。

マルチメディア化されたオブジェクトと人間の言葉を結びつけるには、機械にも利用可能な言葉の辞書(データベース)やその辞書を用いた処理モデルの構築といった自然言語処理基盤の構築が必要です。地道な大学での研究に、具体的な応用対象の場を与え、基盤を共同構築することは、競争力をもつ技術に育つシーズとして大いに有望であると考えます。

(研究成果の産業への展開例)

対話ロボット、対話型インターフェース

研究者データ

<p>■氏名：竹内 和広 (たけうち かずひろ)</p>	<p>■キーワード： 自然言語処理、自然言語理解、対話処理</p>
<p>■大学：大阪電気通信大学</p>	<p>■メッセージ： 技術開発は深く地道なものと考えています。しっかりとした基盤をあせらずに共に築いていければ、と考えます。</p>
<p>■専攻・学科：情報工学科</p>	
<p>■職制：准教授</p>	
<p>■E-mail：takeuchi@isc.osakac.ac.jp</p>	
<p>■URL：—</p>	

産学官連絡窓口

<p>■大阪電気通信大学 研究支援室</p>	
<p>■住所：〒572-8530 大阪府寝屋川市初町18番8号</p>	
<p>■TEL：072-824-1131 (代)、072-820-3827 (直)</p>	<p>■FAX：072-820-9012</p>
<p>■E-mail：ken-shien@isc.osakac.ac.jp</p>	
<p>■URL：http://www.osakac.ac.jp/</p>	